

西日が差し込み始めたころ、住民課健康推進グループには、疲れを吹き飛ばすような笑顔が広がります。聞こえてくるのは、町民の健康に関する話題。頼れる先輩と行動力ある後輩が、連携しながら健康推進に取り組んでいます。4月の異動で配属された主事の太田さんと、7月に新しく着任した井上さん。偶然にも同じ学年という2人に話を聞きました。



## Vol.05

### 住民課健康推進グループ

いのうえともみ  
保健師 **井上朋美さん(29歳)**

おおた こうへい  
主事 **太田幸平さん(28歳)**

### コミュニケーションを大切に

太田さんは、小平町出身。専門学校を卒業して興部町で4年余り消防士として働きました。平成29年11月に結婚し、子どもに恵まれたことがきっかけで、昨年5月に妻の実家がある厚真町に移住し、町役場に就職。農業グループに1年間在籍し、今年4月から健康推進グループでがん検診や窓口業務などを担当しています。「僕って、陸上のケンブリッジ飛鳥に似ているでしょう?」。お茶目な一面をの

ぞかせる憎めない性格です。栗山町出身の井上さんは、札幌市内の大学を経て、新冠町で6年間、保健師として働きました。無職になり、大学時代の先輩から、厚真町の保健活動が充実しているという話を聞いて一念発起。田園風景など、実家の栗山町と似ていたことも決心するきっかけになったそうです。感性豊かで、包容力ある語り口が、相談相手を自然と安心させます。「食べるのが好きなの

で、グルメを求めてドライブすることもありますが」と、行動的な側面も教えてくれました。

仕事は、各種健康診断に加え、役場窓口や電話などでの相談、家庭訪問など、多岐にわたります。子育て中の悩みや病気に関する不安など、相談内容は十人十色です。会話を通じて自身を知ってもらいながら、信頼関係を築きます。神経を使いますが、少しずつ改善されると「お手伝いできて良かった」と、気持ちが高揚されるのだそうです。

「快く受け入れてくれる移住者に優しいマチ」が、2人の厚真の印象です。健康診断などでも、高齢者に家族が付き添う人が多く、他の町では余り見られない光景といいます。「町民に寄り添い、丁寧な仕事を心掛けます」と語る太田さん、「向上心を磨き、早く皆さんに頼られる存在になりたい」と話す井上さん。二人の思いは、町民の皆さんに注がれています。

あなたにとっての  
愛すべき厚真を投稿してください



フェイスブック  
@atsumatownhokkaido



インスタグラム  
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたはインスタグラムに投稿してください。

# ATSUMA LOVERS